

子は親の鏡

十二月の声を聞くとは何となく、あわただしく気ぜわしさを感ぜず。そんなひと時、今年一年をふり返り、我が家の家庭教育について川柳をまじえながら考えてみたいと思います。

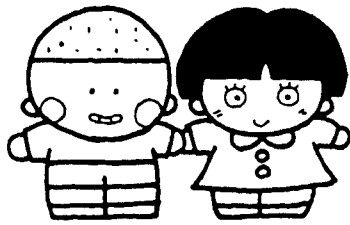
参考までにある町の本年度の家庭教育の現状と問題点というアンケートを見ますと、「家庭教育の力が低下している」と考えている人が実に七五%もおります。教育力低下の具体的内容を見ますと、躰に対する親の態度に問題があるが三八%、困難に耐える力の不足三二%、基本的生活習慣が問題二五%、こんな数字が目にとまります。

本市においてもこれと同じような結果がでるのではないのでしょうか。

さて低下の原因についても「躰などに対する親の無関心三八%」、「親子が共に作業する機会の不足二〇%」、「互いに励まし、競い合う機会の不足一〇%」、「躰や教育に自信をなくした親の増加一〇%」。このような結果を見ますと、家庭の教育については、子どもの問題としてとらえるのではなく、親の問題として考えなければならぬことが多いと思います。つい先日の読売新聞に記載されて

いた川柳を参考にしながら考えてみましょう。これは私のことを言われているようだ。そんなお母さん、お父さんがいるのではないのでしょうか。

まず第一に「騒ぐ子をしかって親にしかられる」こんな経験はないでしょうか。良かれと思って、自分の子どもと同じように同じ感覚で注意し、指導してみたら、よいなおせっかいだと言われんばかりに、冷たい目で見られた、も



う二度と注意することはやめよう、こんな気持ちになってしまいます。お互に、持ちつ持たれつの中、子どもの指導には、隣りの子ども、自分の子どもと同じような意識を持ちたいものです。

第二に「ポイ捨てを見てる子どもまねをする」子どもは親の背を見て育つとか、親の言うようには育たないが、やるように育つものだ、こんなことをよく言われますが、まさにその通り。親に似ない子は鬼っ子だ、など言いますが、

親の生きざまを見ながら育つ、そんな子どもが周囲に多くいることを知って毎日の生活を営みたいものです。

第三に「割り込んで取らせた席に座る親」よくやったとばかりに態度で子どもを称賛する親、山手線の電車の中で、長距離列車の中等などで時として見かける情景です。自分の行為がはずべきことだということにわからない子どもを作ってしまうことにならないでしょうか。

第四に「席取りの親の背を見て子は育つ」赤ちゃんをつれていて若いご夫婦、お年寄りをそっちのけで座席を確保することに夢中。無言の教育とよく言われますが、背の赤ちゃんは親の行動をだまっで見えています。その様子は忘れたいものとして子どもの脳裏にきざまれることでしょうか。

いくつかの川柳、心にくいばかりです。親の日常がいつも自然に子どもに伝っていくことを考えると子どもの生活は、すべてそのよってきたるもとは親であるということになります。子どもの非行をしかったり、子どもの行動をなげく前に、親自身の生活態度をもう一度考えたいものです。誠実な家庭関係、暖かい配慮、正義の支配、質朴な空気。これらが子どもの成長にとってこのまじい環境になることはまちがいないものと思われ

近藤幹雄教授退任記念 都留文科大学合唱団 第30回定期演奏会

日時

12月23日

開場 14:00

開演 14:30

場所

大月市民会館大ホール

入場料 500円

曲目

ヘンデル「メサイア」(抜粋)

オーケストラ

ヘンデルバロック管弦楽団

連絡先

団長 佐藤 開 ☎(43)9446

市民の皆さんへお願い

悪書や有害ビデオを販売する 自動販売機を追放しよう

都留市では、過去に何台か設置されていましたが、関係者の協力により0台になっていました。

しかし、最近、また一台設置されてしまいました。

業者は『缶ジュースの自動販売機を置きたい』といってきますが、土地貸借契約書を結んでしまうと、ある日突然悪書や有害ビデオを販売する自動販売機を置いてしまいます。契約違反だとしても他市町村の例を見ると泣き寝入りです。土地を貸した人は皆後悔しています。甘いことば等につられて、土地を絶対に貸さないでください。置かせないでください。一度貸すと撤去するのが大変です。ばく大な撤去料もとられます。

都留市を悪書や有害ビデオ等の侵入から守り、次代を担う青少年を素晴らしい環境の中で育てていきましょう。

都留市青少年総合対策本部/青少年育成都留市民会議